

第6学年国語科学習指導案

日 時 令和3年6月30日(水) 5校時

学校名 小金井市立緑小学校

対 象 第6学年2組 30名

授業者 岩本 涼子

1 単元名 たのしみは

2 単元の目標

- ・構成や書き表し方などに着目して推敲し、短歌を整えることができる。
- ・短歌に対する感想や意見を交流し、自分の作品のよいところを見付けることができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	① 語感や言葉の使い方に気を付けて、語や語句を用いて短歌を表すとともに、古典について解説した文章を読んだり作品の内容を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を理解できる。
思考・判断・表現	① 構成や書き表し方などに着目して、短歌を整えている。 ② 短歌に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見付けている。
主体的に学習に取り組む態度	① 課題を見出し、課題解決のための学習計画を立てることができる。 ② 短歌作りに関心をもち、自分の生活の中から「たのしみ」を探そうとしている。 ③ 書き表し方に着目して表現を整えることに粘り強く取り組み、これまでの学習をいかして短歌を作ろうとしている。

7 本時の内容 (3/4時間)

(1) 目標

語感や言葉の使い方に着目して、表現の工夫を考えながら言葉を選ぶ良さを感じることができる。

(2) 展開

	○学習活動 「発問」 ・児童の反応	◇指導上の留意点 ◆評価
導入	○第2時の児童の振り返りから、自分の短歌の見直しをする意欲をもつ。	◇スクールタクトで数名の振り返りを提示する。
展開	<p>○基になる短歌と作者の思いを知る。 (もとになる短歌)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>たのしみは 休み時間に 友達と ボールを使って 遊んでいるとき</p> </div> <p>「○○の工夫①～⑤を使って、より思いが伝わる短歌を作ろう」</p> <p>○第2時で学んだ表現の工夫を思い出し、それを生かして、短歌を推敲する。 個人⇒グループ</p> <p>① 別の言葉や表記 ・たのしみは 休み時間に 友達と ボール投げ合い 走り回るとき</p> <p>② 比喩 ・たのしみは 休み時間に 矢のような ボールを放ち 当てまくるとき</p> <p>③ オノマトペ ・たのしみは 休み時間に 友達の ボール目で追い ハラハラするとき</p> <p>④ 語順 ・たのしみは ボール投げ合う 中休み みんないっしょに 遊んでいるとき</p> <p>⑤ 反復 ・たのしみは 休み時間に 友達を 追いかけて追いかけて 当てられたとき</p> <p>○作った短歌を発表し合い、表現の工夫に対する気付きや感想を話す。</p>	<p>【協働学習】</p> <p>◇基になる短歌と作者の思いを提示し、表現の工夫を使って、より思いが伝わる短歌になるよう推敲させる。</p> <p>◇「思いが伝わること」「○○の工夫を使うこと」という二つの観点を伝え、児童同士でアドバイスをし合ったり、お互いの意見を聞き合ったりすることで、活動が進むよう支援する。</p> <p>【ICTの活用】</p> <p>◇スクールタクトで基になる短歌を配信することで、全員が課題を共有し、表現の変更を簡単に行えるようにする。</p> <p>◇グループで推敲する際はホワイトボードを使い、そのまま発表できるようにする。できれば工夫のポイントを書きこませる。</p> <p>◇表現の工夫やその効果について共通理解を図り、鑑賞の際の観点につなげられるようにする。</p>
まとめ	<p>○本時の振り返りをする。</p> <p>・今日の学習を通して、自分でも○○の工夫を使いたいと思った。</p>	<p>◇振り返りを紹介し、次時の意欲につなげる。</p> <p>◆語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。【知・技①】 (発言、クロムブック記述)</p>

授業を見る視点【ICT】協働学習をする際に、クロムブックを使うことは効果的だったか。

【教科】協働学習をすることは、考えを深めることにつながったか。

